

情報公開文書（オプトアウト）

臨床研究のうち、診療情報などの情報のみを用いる研究については、国が定めた指針に基づき、研究対象となる患者様お一人ずつから直接同意を得る必要はありませんが、研究の実施についての情報を通知・公開し、拒否の機会を保障する事が必要とされています。この方法を「オプトアウト」と言います。

当院では、急性胆嚢炎における治療奏効率の向上を目的として、下記の調査（臨床研究）を実施しております。情報に関しては、個人名が特定されない方法で収集・解析しており、患者様のプライバシーは保護されますが、「自分の情報を使って欲しくない」とお思いになる場合は、遠慮なく下記研究責任者までご連絡頂きますようお願いいたします。

研究課題名	急性胆嚢炎に対する当院での治療法の比較・検討
研究責任者	町田市民病院 消化器内科部長 益井 芳文
他研究機関および各施設の研究責任者	他研究機関との調査協力はありません。
本研究目的	目的は急性胆嚢炎に対する各治療法の有用性を明らかにすることです。
対象となる方	2014年7月から2019年9月まで急性胆嚢炎または胆石性胆嚢炎の診断を受け、当院に入院加療を要した方です。
研究の方法	上記対象患者様における電子カルテ診療情報から、記録および検査データを調査します。
試料/情報の他研究機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報提供はありません。
利用する情報	電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
研究計画書などの入手または閲覧	希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等を閲覧することができます。
個人情報の取り扱い	個人が特定され得る氏名や住所等の情報はすべて削除します。調査結果は関連学会および学術誌等で公表しますが、この際も個人情報は一切含まないものとします。
収集した情報の管理責任者	町田市民病院 消化器内科部長 益井 芳文
本研究の資金源（利益相反）	本調査に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	町田市民病院（代表） 042-722-2230 消化器内科部長 益井 芳文（調査責任者）